

平成 27 年 2 月 2 日

報道関係各位

株式会社オリエンタルコンサルタンツ
代表取締役社長 野崎 秀則

全国の自治体で初となる統合型公共施設データベースを 『産官学連携』により構築

株式会社オリエンタルコンサルタンツは、将来のまちづくり、公共施設等の管理及び国土強靱化を戦略的に推進するツールとなる統合型公共施設データベースを、焼津市、国立大学法人名古屋工業大学と共同で開発いたしました。

本統合データベースは、市が保有するほぼ全ての公共施設（インフラ、建物）を対象とし、異なるデータ構造である各施設データの複数検索や図表化機能を兼ね備えた、全国の自治体で初となる統合型公共施設データベースといえます。

本統合データベースの構築によって、次のような行政サービスが展開できます。

- ① 公共施設等総合管理計画の策定支援
- ② 公共施設（インフラ、建物）のメンテナンスサイクルにおける維持修繕のスケジュール、履歴などの情報の一元管理
- ③ 公会計システムと連動した固定資産台帳

焼津市においては、来年度から本統合データベースを導入し、公共施設全体のデータ管理、維持修繕のスケジュールおよび履歴の管理に活用する予定です。

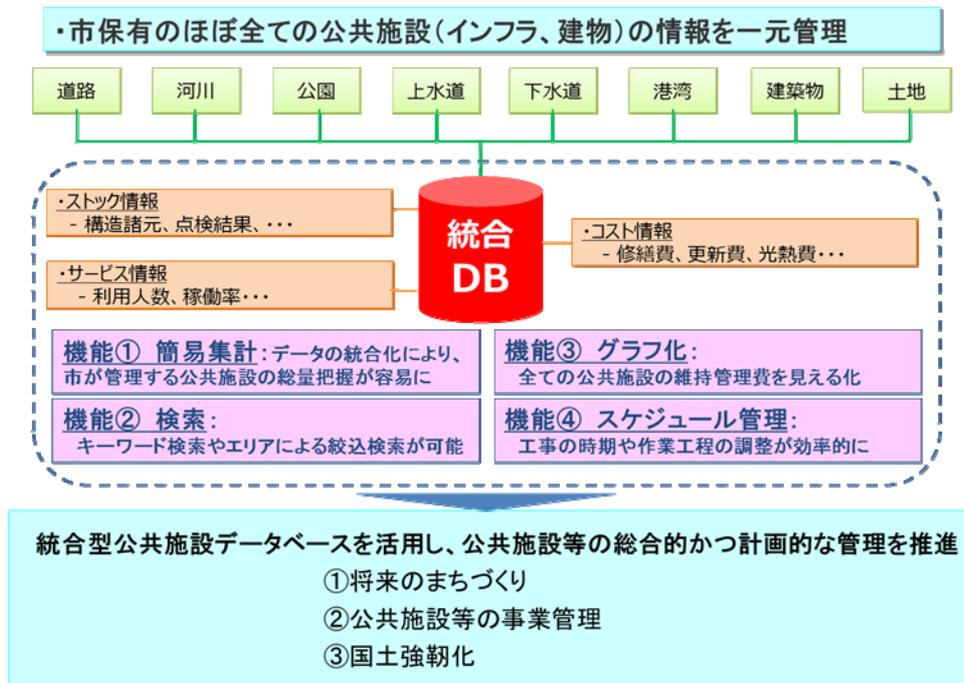


図 統合型公共施設データベースの概要

【共同研究の成果に関する記者発表】



共同研究の成果に関する記者発表の様子



左：中野弘道 焼津市長／右：野崎秀則 （株）オリエンタルコンサルタンツ代表取締役社長

＜本資料に関するお問い合わせ先＞
株式会社オリエンタルコンサルタンツ
TEL：03-6311-7551 FAX：03-6311-8011
URL： <http://www.oriconsul.com/>
統括本部 三百田、伊藤